『2015 年改定レベル表対応 品質管理検定教科書 QC 検定 3 級』 正 誤 票

(第1版第1刷~第4刷)

お手持ちの本書の<u>刷数</u>をご確認の上、対応する箇所をご覧ください。

●第1刷に対する正誤票 (第2刷以降の正誤票で,追加の修正点もご確認ください。)

	位置	誤	正
p.33	6行目	ISO 9000:2006	ISO 9000:2005
p.52	8 行目	五ゲン主義	5 ゲン主義
p.69	14 行目	(Failure Modes and	(Failure Mode and
p.136	例題1 ③の式	=0.318	=0.319
p.138	下から8行目	$CV = \cdots = 0.1 $ (%)	CV= ··· = 0.1
p.139	図 12.4	CV= 0.1 (%)	CV= 0.1
	下から7行目	=0.0028=	=0.028=
p.147	☑ 13.3	平成 22 年	平成 22 年
	棒グラフの年号	平成 22 年	平成 23 年
		平成 23 年	平成 24 年
		平成 24 年	平成 25 年
p.152	手順6 4行目	10 ないしは 20 等分の	5 ないしは 10 等分の
p.172	手順5の3行目	$\bar{x} = x_0 + \frac{\sum uf}{n} + h$	$\bar{x} = x_0 + \frac{\sum uf}{n} \times h$
p.176	(1) の 左側囲み内	$k = \frac{ (S_U - S_L) - 2\bar{x} }{S_U - S_L}$	$k = \frac{ (S_U + S_L) - 2\bar{x} }{S_U - S_L}$
p.177	4 行目	$C_p = 10.0/6 \times 2.269 = 0.735$	$C_p = 10.0/(6 \times 2.269) = 0.735$
p.186	4行目の式	$S_{xx} = \cdots \frac{\left(\sum_{i=1}^{n} x_i\right)^2}{n}$	$S_{xx} = \cdots \frac{\left(\sum_{i=1}^{n} x_i\right)^2}{n}$
	5行目の式**	$S_{yy} = \sum (y_i - y)^2 = \cdots \frac{\left(\sum_{i=1}^n y_i\right)^2}{n}$	$S_{yy} = \sum (y_i - \overline{y})^2 = \cdots \frac{\left(\sum_{i=1}^n y_i\right)^2}{n}$
p.187	1行目の3式目	$S_{XY} = \cdots = 52.4$	$S_{XY} = \cdots = 52.6$
	2 行目	$r = \frac{52.4}{\sqrt{30.8 \times 93.2}} = 0.982$	$r = \frac{52.6}{\sqrt{30.8 \times 93.2}} = 0.982$
	下から2行目	(散布図は図 13.22 で	(散布図は図 13.20 で
p.188	表 13.15 項目 3 列目	(x - 95.0)	(x - 95)
p.195	⊠ 14.1	(mm) 5.18 5.16 頓 対 5.12 5.12 5.10 10 20 30 40 製造順	(mm) 5.18 5.16 寸 5.14 法 5.12

	位置	誤	正
p.200	下から4行目	影響の小さい要因は自然の中で	影響の小さい要因はそのままで
p.207	手順 5 4 行目	$\bar{R} = \dots = \frac{\sum R}{n}$	$\bar{R} = \dots = \frac{\sum R}{k}$
	手順6②1行目	CL = R	$CL = \bar{R}$
p.208	表 14.4 の下 2 行目	$LCL = \bar{\bar{X}} + A_2 \bar{R} = \cdots$	$LCL = \bar{\bar{X}} - A_2 \bar{R} = \cdots$
p.212	表 14.5 ルール 5	管理原価線に	管理限界線に
	"管理図の特徴"の欄		
p.231	7行目*	$\mu = \frac{x - \mu}{\sigma}$	$k = \frac{x - \mu}{\sigma}$
	12 行目*	$\mu = \frac{x - \mu}{\sigma}$ から規準化した u 求め,	$k = \frac{x - \mu}{\sigma}$ から規準化した k を求め,
		この u を k として表 16.1 から確率 ϵ を	表 16.1 のkから確率 ε を
p.233	解答1と解答2の式*	$\mu = \frac{x - \mu}{\sigma} = \cdots$	$k = \frac{x - \mu}{\sigma} = \cdots$
p.238	下から2行目	サンプル不適合率 P の平均 $E(P)$ と	サンプル不適合率の平均 $E(P)$ と

備考 1 p.231, p.233 の 3 か所の*の訂正は 2015 年 7 月 31 日付の正誤票に再修正を加えています。

備考 2 p.186 の**の訂正は 2016 年 1 月 21 日付の正誤票に新たな修正を加えています。

●第2刷に対する正誤票 (第3刷以降の正誤票で,追加の修正点もご確認ください。)

●第2刷に対する止誤票	(第3刷以降の正誤票で,追加の修正	:点もご確認ください。)
位 置	誤	正
p.33 13 行目	石川馨著)の	石川馨著)] の
p.49 13 行目	日的	目的
p.68 図 4.1	(誤)	*
	ステ 部門 取締役会 営業部 開発	R部 品質保証部 製造部 会議体
	市場開査 資料 要求品質把握 基本	T -
	開発決定	企画評価会議 (DRI) 商品企画書室 製品規格への移行書室 研究
	(正)	
	双元 部門 取締役会 営業部 開発	
	東水品質把握 基本	
	開発決定	(DRI) 病品企画書堂 製造企画人の移行書堂
p.109 5行目	⑤ QC 工程表図(表)(QC 工程標準)	⑤ QC 工程図(表)(QC 工程標準)
p.147 図 13.3 図の名称	棒グラフの例	帯グラフの例

	位置	誤	正
p.170	表 13.7*	n=10	n=100
		中央値	中心値
		85.7	85.70
		86.8	86.80
		87.9	87.90
		89.0	89.00
		91.2	91.20
		92.3	92.30
		93.4	93.40
		94.5	94.50
		95.6	95.60
	図 13.18 平均値の値	90.5	90.507
p.172	下から5行目	$\bar{x} = \dots = 90.51$	$\bar{x} = \dots = 90.507$
	下から4行目	90.53	90.534
p.173	表 13.9	やや級で	やや急で
	右又は左すそ引き型		
	分布の説明 4 行目		
	高原型の図	-4ffth	
	(分布型)	<u></u>	
		*右から二つ目と三つ目の間に分布なし	*右から二つ目と三つ目の間に分布をつくる
p.177	1行目	= 90.51	= 90.507
p.182	⊠ 13.20	(m) 120.0 100.0	データ: n=40 目 的: 設定流量と実測流量の 相関を見る 製品名: 添加剤 A 工程名: チャージ工程 作成者: 流森 作成年月日: 2015 年 4 月 1 日
p.183	表 13.13 の 6	2次関す関数	2次関数
	散布図の特徴2行目		
p.186	6~7 行目	S_{xy} は x と y の共分散(偏差積和)とい	S_{xy} は x と y との偏差積和で, $S_{xy}/(n-1)$ を
		j.	共分散という.
p.194		記入する.	記入する. また, 管理図の管理限界線 [UCL,
			LCL(199ページ参照)]を用いることもできる.
p.195	下から 5 行目	打点の	③ 打点の
p.206	手順2 1行目	平均値を $ar{X}$ 計算する	平均値 $ar{X}$ を計算する
p.207	手順 5 6 行目	$\bar{R} = \frac{27 + 18 + \dots + 8}{25} = \frac{295}{25} = 11.80$	$\bar{R} = \frac{12 + 14 + \dots + 8}{25} = \frac{295}{25} = 11.80$
p.233	10~11 行目	Pを求めよ. また 18.5 以下の…求めよ.	Pを求めよ.
	解答2の式	$k = \frac{x - \mu}{\sigma} = \cdots$	$k = \frac{\mu - x}{\sigma} = \cdots$

	位 置	誤	正
p.234	解答5の式	$k = \frac{x - \mu}{\sigma} = \frac{90.4 - 100}{5} = -1.92$	$k = \frac{\mu - x}{\sigma} = \frac{100 - 90.4}{5} = 1.92$
p.235	下から8行目	$k_L =$	k =
	下から6行目	$k_U =$	k =
p.236	2 行目*	N(90.51, 2.256²)	*第3刷に対する正誤票の正欄をご確認ください。
	4 行目*	$k_L = 2.44$ $P_L = 0.0073$	$k = 2.43$ $P_L = 0.0075$
	5 行目*	$k_U = 1.99 P_U = 0.023$	$k = 1.98$ $P_U = 0.0239$
	6 行目	P = 0.0073 + 0.023 = 0.0303	P = 0.0075 + 0.0239 = 0.0314
	最終行	工程で充愼	工程で充填
p.239	3行目	不適合個数 x と	不適合品数 x と
	4 行目	不適合率 P と	不適合品率 P と

備考 1 p.170, p.236 の 4 か所の*の訂正は 2015 年 8 月 23 日付の正誤票に追加修正を加えています。

●第3刷に対する正誤票 (第4刷以降の正誤票で,追加の修正点もご確認ください。)

	位 置	誤	正
p.206	最終行	② 群 $ar{X}$ ごとの平均値の平均値 ② 合計	+値を群の数 k で除し,平均値
p.207	手順5 3行目	群ごとの範囲 R の平均値 合計値を群の数 k で除し、平均値	
p.209	⊠ 14.6	(正) 目的: 工程 K における製品 A の品質特性 (=内容量) の測定期間: 2014.12.1~25, 測定方法: 電子天秤による質した1.50.38 にと55.38 にと57.19 に上57.19 に上57.19 に上57.19 にし55.38 にと57.19 にし57.19 にし57	
p.236	2 行目		7, 2.2692)
	2~3 行目		路値 S_U = 95.0, 下限規格値 S_L = 85.0
	7行目	3.0 (%) 3.1 (%)	
p.242	表 16.2 nP= m=3 の表	$egin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$.03
	III 0 A	0 .280 0	.028

●第4刷に対する正誤票

	位 置	誤	正
p.137	表 12.1 右側の表	80	80.5
	のメディアン ỹ		
	表 12.2 左側の表		
	の "偏差の 2 乗⑤"	偏差の2乗⑤	偏差の2乗⑤
		183.75	184.96
		6.53	6.76
		0.2	0.16
		30.86	31.36
		41.53	40.96
		2.42	2.56
		5.98	5.76
		109.09	108.16
		11.86	11.56
		<u>®392.22</u>	<u>®392.24</u>
	表 12.2 右側の表	392.22	392.24
	の平方和 S		
p.139	上から3行目	s=0.318	s=0.319
	上から5行目	$CV = \cdots \frac{0.318}{11.52} = 0.0276$	$CV = \cdots \frac{0.319}{11.52} = 0.0277$

以上、お詫びして訂正いたします。

2017年7月7日 日本規格協会